

令和8年1月号

川越セントノア病院 〒350-1155 埼玉県川越市下赤坂290-2
TEL049-238-1160 FAX049-238-1162 <https://www.saintnoah-kawagoe.jp>



ノアの爽風



～目次～

- 病院短信『新年のご挨拶』 吉村 一克
- 作業療法室だより
- 日常の一コマ
- 栄養科だより
- 『ハンスインチャレンジ』 主演 ナナ

1月の予定

◆誕生日会&獅子舞

1病棟: 9日(金) 14:15～	} 各病棟にて
2病棟: 8日(木) 14:00～	
3病棟: 7日(水) 14:00～	





誕生日会



1病棟 誕生日会
輪っか廻しゲーム(*'▽'*)



3病棟 誕生日会
カラオケ大会!(^)!



2病棟 誕生日会
わなげ! ('w')

キャンドルサービス

2025年12月25日 クリスマス
厳かにキャンドルサービスが行われました。



ハンドベルの美しい音色に合わせて
きよこの夜を合唱しました?



最後にサンタより皆さんにプレゼントが
贈られました(*▽*)





『新年のご挨拶』

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が日本に侵入してから6年がたち、やっと通常の生活が戻ってきたような気がしています。昨年末はインフルエンザが流行りましたが、マスクや三密がマスコミを騒がすこともなくなりました。

犬の名前は、モモ、ミミ、メメ、ネネ、ハナ、ヒメ、最近の流行りのムギ等二文字の名前が多く、覚えるのに苦労しています。当院のセラピー犬は「ナナ」です。が・・・。

「身体は何ともないです。頭がすっきりしないですね。もう82歳だからしょうがないと思ってます。」と笑う○○ずみサン。「御飯がお茶碗の底にこれぐらいしかないんだよ。半分でもいいから増やしてくれない。」と切実に話す○○やなぎサン。「ネクタイ素敵。これからもよろしく。」いつもほめてくれる○○ベサン。「もう引退させてください。足が痛くてトイレも一人じゃいけない。迷惑かけるだけで情けないよ。」と泣きそうに話す○○のサン。「稼いでくる旦那にはさせられないから毎日雪かきしてたんですよ。もうみんな亡くなって身内はいなくなっただけです。」となぜか娘さんのことは忘れてしまった○○ざわサン。「娘夫婦がもめてるみたいなの。私

が話をしないと収まらないから行ってくるわ。」と娘さんは子ども扱いな○○だサン。「え、おせんべい。いただきませう。煎餅屋の息子だったんで煎餅は大好き。」文句も忘れて喜んでくれる○○いサン。「治療は時間がかかるから別にこのままでいいよ。これたら来るからハハハ」と遠回しに退院を訴える○○はらサン。「走れないわよ。もう若くないんだから。」と冗談に笑って返してくれる○○やまサン。

「患者さんの名前を覚えると単に訴えを聞くのではなく、人として診ることが出来る。」と教えてくれた先生がいました。当院には1病棟56人、病院全体で168名の患者さんがいて、衰えた記憶力で覚えられないのか・・・「認知症の良い薬がないかな」は私個人の切実な願いでもあります。

皆様が良い一年を過ごせますように。



栄養科だより

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。栄養科では、今年も皆様に良い年でありますようにと祈願して、元日の昼食におせち料理を提供いたします。一例として子孫繁栄を祈る「数の子」や、黄金色に見えることや漢字で栗金団と書くことから金運を招き繁盛繁栄するようにと祈願した「栗きんとん」。昆布は喜ぶを意味し、巻きは結ぶを意味した「昆布巻き」、健康に暮らせるようにとの願いやマメに働くようにと「黒豆」。腰が曲がるまで長生きできるようにと長寿への願いを込めて「有頭海老の煮物」など、縁起の良いものをご用意させていただきました。今年も栄養科では、行事食やおやつバイキングなど患者さんに楽しんでもらえるようなお食事を提供できるよう、日々励んでいきます。



ナナハンズインチャレンジ



ナナちゃんのハンズインチャレンジ〜❤️ 出来るかな〜❤️ 携帯電話でQRコードを読み取ってください(*´ω`*)V



QRコードを読み取って動画を見ることができます。

日常のーコマ

今月は2病棟の洋子さん（81歳）です。洋子さんは東京都出身で4人姉妹の長女で、高校卒業後は銀行で働いていました。24歳でご結婚され、2人のお子さんに恵まれました。娘さん達のお話によると、料理が得意でテレビで見るとすぐにチャレンジして作ってくれたそうです。また、趣味である刺繍の仲間や次女さんとの旅行も楽しんでいました。ご主人とも仲が良く、毎日自転車で一緒に買い物に行っていたそうです。2世帯住宅で同居しているお孫さんもかわいがっていました。70歳頃から物の名前が出てこなくなる等の症状が出始め、75歳頃からは料理がほとんど出来なくなり、イライラすることも増えアルツハイマー型認知症の診断を受けました。77歳頃からは介護拒否も強くなり



デイサービスや在宅介護も限界となり、78歳の時に他の病院に入院されました。そこでも介護抵抗や食事摂取量の低下等があり、在宅や施設は難しく、令和4年10月に当院に入院されました。入院当初は食事が摂れず、栄養補助食品もなかなか摂取出来ない日が続き心配していましたが、当院での生活に慣れていくにつれ徐々に食事摂取量も増えてきて、今では食欲も旺盛になりホッとしています。洋子さんは音楽が好きで、ラジオを聴きながら歌を歌っていました。今は歌うことは無くなってしまいましたが、ラジオを聴きながらリラックスして過ごしています。また、時々ではありますが「ありがとう」と言ってくれることもあります。これからも洋子さんの声が聞けるよう、お手伝いしたいと思います。

作業療法だより



年末が近づいてきたつい先日、“出し物大会”を開催しました！患者さん・職員力を合わせ、1ヶ月以上前から構想～練習を重ね、ダンスやハンドベル・カラオケと観客の前で披露しました。中には「緊張する」「あがっちゃってダメなのよ～」と普段見せないこわばった表情を見せながら話す方もいましたが、出番が終わると安心したようで穏やか・にこやかに拍手で楽しまれていました。

さて！本番になると緊張した様子を多少は感じつつも練習の成果をしっかりと発揮し、場を大層盛り上げていました。その場を盛り立てたのは演者だけではありません！コメンテーターとして3名の方にお話し、それぞれコメントをして頂きました。そのコメントのうまいこと！「最高です！このまま紅白に出ても良いと思いました！」とさらに場が笑いに包まれました。文字通り患者さん主体となり、演者・観客みんなで作上げた会となりました。

